

平成 25 年 1 月 21 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 熊本県立第二高等学校 教諭 堤

2. 講師氏名: Kasem Kulkeaw

3. 同行者氏名: 井上 朋子

4. 実施日時: 平成 25 年 1 月 17 日 (木) 10:50 ~ 12:40

5. 参加生徒: 2 年生 35 人、 3 年生 0 人、 4 年生 0 人 (合計 35 人)
備考: 理数科の生徒

6. 講演題目: Life organisms as tools for biomedical research

生物医学的研究のツールとしての生体

7. 講演概要:

ゼブラフィッシュを使って研究を行う理由や方法を解説する。また、そのことによって解決すべき問題(世界の貧血の問題)などのかかわりを、研究者のたちばから説明した。

8. 使用言語: 英語 (日本語通訳の補助あり)

9. 講演形式:

(1) 講演時間 90 分 質疑応答時間 10 分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)

プロジェクター使用による講演

(3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)

同行者によるサポート(日本語による通訳と解説)

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

講義に使用するキーワードの英語のリスト(英語の授業で予習を行った)

10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金

11. その他特筆すべき事項:

集中が途切れそうな場合は休憩をいれろとか、座席を前の方に招き寄せるなどの工夫に加えて、にこやかに非常にフレンドリーに生徒に接していただいたので、生徒の方も楽しく講義を受けることができた。